

I 活動方針

世界的な金融危機に臨んで、各国の首脳が一堂に会して協議を持ちました。世界的規模で発生した危機に対して、問題の共有と過去の歴史に学んだ結果によりもたらされた成果といえます。従来の7カ国首脳会議では機能しない今回の金融危機は20の国と地域が共同歩調を取ろうとするもので、集まった国と地域で世界のGDPは実に9割に達します。地球規模での対応が必要な場合、なによりも優先されたのは集まっての対話であり、新しい枠組みでの協議でした。

これは、世界が完全に繋がっていることの証明であり、単に一国の利益に囚われていては問題の解決はおろか一国の存続すら危ういことが立証された会議です。世界が同調して動く時代が到来した今日、逆に一国が果たす役割は大きく、協働の精神が問われることとなります。

一方、国と地域の関係も同様であり、地域社会が世界の潮流と無縁で在り得ないことは言うまでもありません。宝塚市も多くの圧力に耐えているところです。世界の首脳が一堂に会したことを例にとるまでもありませんが、危機に臨んで最初にしなければならないこと、それは故あって結ばれた縁により集まり組織された商工会議所が、文字どおり会議の場として機能し問題を共有して会員の縁の力で克服することにあります。

10周年の節目にあたり、地域を共有する総ての人々が「だいすき宝塚」と言える社会を作り出すことを基本に、商工会議所事業の目的も「だいすき宝塚」を実感し実現することを推進する事業を展開いたします。「だいすき宝塚」と言える社会を創造するためには、危機を共有し危機に対処するために「備える」ことで企業が存続することが前提であります。

金融危機を始め環境問題や新型インフルエンザという脅威にも備えなければなりません。また2011年には一斉に「地上デジタル」への切り替えなど社会インフラも大きく変わります。企業経営にも多大な影響が出ます。従って10周年に臨んで多くの危機を乗り越え、力強く邁進する活力を生む「種」をできる限り蒔き、10年後には誰もが「だいすき宝塚」を共有する社会を目指す記念年とします。

10周年に際し、創立の意義目的を前身団体から営々と伝えられた精神に照らし、世界が繋がる時代の地域は如何にあるべきかを問い直し、地域の繋がりを基本に支えあう協働の精神を発揮し未来を切り拓いてまいります。

会員の皆様には商工会議所に集まった意義と目的を記念年に振り返り、仲間である会員の奮闘に思いを馳せ、頑張ってきたお互いを称えあい、未来へ繋げる活動にしたいと念じています。どうか会員の皆様にはより一層の努力と結束を求めることとなりますが、ご理解の上ご協力をお願いします。

Ⅱ 重点事業

(策定方針)

10周年に臨んで

収穫の時には立ち会えないかも知れないが、
次世代のために
今のうちに活力を生む種を蒔いておきたい。

1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

(1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営

2. 産業活性化策の積極的推進

(1) 地域活力増進事業の推進

① 「商人塾」の開催

(2) 創業・起業支援事業の促進

① 起業（創業）何でも相談の開催

(3) 社会インフラ等対応促進事業の推進

① 宝塚彩発見サロンの運営

② 地上デジタル放送研究事業の調査研究

3. 組織の基盤強化

(1) 会員増強運動の展開

(2) 会員福利厚生事業の充実

4. 中心市街地活性化への支援

5. 創立10周年記念事業の実施

(1) 創立10周年記念式典・記念祝賀会の実施

(2) 創立10周年記念誌の発行

(3) 海外視察研修の実施

(4) 「(仮称) 近未来の宝塚」研究発表

(5) 「だいすき宝塚」推進事業

① 緊急経済対策事業

～ 「(仮称) がんばろう！宝塚」

② 「(仮称) 私の宝塚」の発行

③ 専門相談強化月間の実施

6. 「だいすき宝塚」推進事業

◇印・・・5. 創立10周年記念事業

◇ (1) 緊急経済対策事業 ～ 「(仮称) がんばろう！宝塚」

◇ (2) 「(仮称) 私の宝塚」の発行

(3) 「すまい・るネット宝塚」事業の実施

(4) レジ袋削減への取り組み

◇ (5) 専門相談強化月間の実施

1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

(1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営

企業立地・誘致策や北部開発等地域課題を総合的に整理することを目的とし、経済活性化常任委員会において研究、各部会で検討議論する。また、旧来の産業政策や住宅政策という縦割りでは機能しなくなった問題を、行政と協働して検討し議論する。

2. 産業活性化策の積極的推進

(1) 地域活力増進事業の推進

① 「商人塾」の開催

大型店出店対策の一環として“宝塚まちなか商業”の活性化をめざし、実践的研究テーマを設定した講座を開催する。

(2) 創業・起業支援事業の促進

① 起業（創業）何でも相談の開催

「起業（創業）何でも相談日」を設定し、地域内に潜在する起業をめざす人々の起業意欲を喚起する。(株)日本政策金融公庫と共催で開設し、起業支援を具体的に実施する。(年4回開催予定)

(3) 社会インフラ等対応促進事業の推進

① 宝塚彩発見サロンの運営

京阪神圏が21世紀前半に、課題として、本格的な人口減少時代がくること、グローバル化、IT革命の進展、産業経済環境の激変、居住・労働・余暇・移動などライフスタイルの変化、省エネルギーと循環型社会の形成など地球環境問題、都市構造の老朽化などが挙げられる。これらを経済団体という特徴を活かし、社会参加型の研究の場として運営する。

② 地上デジタル放送研究事業の調査研究

平成22年に実施される地上デジタル放送は、全国一斉にインフラが変更される社会的な変化である。当然、未経験の社会に対応するため、地上デジタル放送がもたらす社会の変化を中心に調査研究を行う。地上デジタル放送の活用が中小企業者の事業展開に寄与する可能性を探る。

3. 組織の基盤強化

(1) 会員増強運動の展開

会員増強月間を設定し、役職員一丸となって組織強化、基盤強化を図る。

(2) 会員福利厚生事業の充実

商工会議所の福利厚生事業を強化し、会員のための福利厚生事業として提供できるメニューを充実させる。

4. 中心市街地活性化への支援

5. 創立10周年記念事業の実施

☆印・・・6. だいすき宝塚推進事業

(1) 創立10周年記念式典・記念祝賀会の実施

創立10周年の節目を迎えたことを内外とともに喜び合い、この10年の貢献や支援に対し感謝の意を表す。また、記念式典の場において、これからの10年の宝塚の産業の方向性についての研究発表を行う。

※祝賀会は開催する方向で提案。ただし、状況により講演等に切り替える場合は、6月の常議員会で事業計画の変更を提案する。

(2) 創立10周年記念誌の発行

(3) 海外視察研修の実施

芸術・文化の産業化等先進的な取り組みを実践する先進地を視察、今後の宝塚市がモデルとするに相応しい都市を巡り研修を実施する。

(4) 「(仮称) 近未来の宝塚」研究発表

芸術文化とデジタルの連携を軸に、「理工系+芸術系+経済系」の人材が最小単位で新産業が生まれ活性化した欧米の事例を研究し、既存産業の新たな開拓分野を模索する。

(5) 「だいすき宝塚」推進事業

☆①緊急経済対策事業

～「(仮称) がんばろう！宝塚」

☆②「(仮称) 私の宝塚」の発行

比較的近代に都市が形成された歴史を持つ宝塚には、人々の埋もれた思いがある。宝塚の隠れた人々の思いを集めて、新たな宝塚の発見を発信することを目的として本を編纂発行する。「だいすき宝塚」事業の一環とし、人々の思いをストーリーにのせ、語り手の思いを地域のつながりに発展させることを目指す。

☆③専門相談強化月間の実施

会議所設立 10 周年の節目にあたり、専門相談の強化月間を設定してサービス提供に努めるとともに、会員の参加意識、所属意識の高揚を図る。具体的には、10 月を「専門相談強化月間」と定め、「法律」「金融・保険」「税金・年金」「相続・遺言・成年後見」の 4 つのテーマで土曜日ごとにセミナーと個別相談会を開催する。

6. 「だいすき宝塚」推進事業

◇印・・・5. 創立 10 周年記念事業

◇（1）緊急経済対策事業

～「(仮称) がんばろう！宝塚」

◇（2）「(仮称) 私の宝塚」の発行

（3）「すまい・るネット宝塚」事業の実施

地産地消の精神に則り、市民の声に応える事業として創案。住宅（マンションを含む）の補修・改修等市民が安心して相談できる窓口の設置の前段として、市民相談に応じる一定の要件を満たす会員事業所の参加を募る事業を実施。

（4）レジ袋削減への取り組み

社会的に取り組み始めているレジ袋削減運動等を市内商業者、大型店、行政、消費者と協議し、活動を広めていく。

◇（5）専門相談強化月間の実施